



# 名古屋いのちの電話

相談電話 (名)832-4343

なやみに しみじみ

No. 4 1985. 12

発行 事務局 「名古屋いのちの電話」  
名古屋市昭和区川名山町56  
聖霊病院 マリア館  
TEL (052) 833-0586  
振替 名古屋1-53758  
発行責任者 相馬信夫

## 生と死の深みに身をおいて

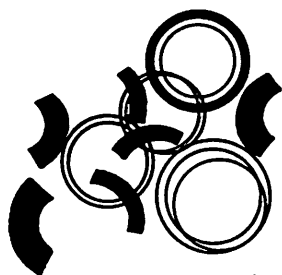
名古屋いのちの電話訓練委員長 島田麗子

名古屋いのちの電話も七月の開局より半年がたちました。現在約一〇〇名のボランティアが訓練を終え、目下研修生として、一日十二時間の電話相談のフロントに立ち、利用者の応対にあたっています。一日約二〇〇通もかかってくる電話の中、お話できるのは平均二十五通、八分の一にしかお答えできない状況です。第二期の電話相談員養成が九月にはじまり、現在四十五名の方があらたに訓練中ですが、二十四時間、電話二台の目標にまでは、いましばらく年月を必要とするでしょう。

家庭問題、人生問題、男女関係子供の問題、性のなやみなど、相談内容を簡単に分類することはできませんが、その一つ一つには本人でなければ分らないような深いなやみや思いがこめられ、また、長い人生の経験や因縁を背景に、今をなやみ迷う方々の相談をうけとめることは決してやさしいことではありません。専門家ではない素人のボランティアとして役割を担

う相談員が、本当に謙虚に利用者の話をきき、相手の立場に立って問題を理解し、しかも適切な対応ができるための訓練には、これ程充分といえる線はないのではないかと感じています。電話相談を通して相談にあずかる者自身が今まで考えたこともなかった問題に触れ、多様な人生や社会の事象に目を開かれ、生と死の深みに共に身をおくような得がたい経験を与えられて、はてしなく成長させていくのだくのではないかと思えます。忙しい家事の合間をさいて、また一日の職場の勤務を終えて、自分自身もさまざまな問題や仕事をかかえつつ、電話の前にすわり、約半日を耳と心をすましてじっと相手の声にききいる作業は、本当に汗のにじむ苦勞であろうかと思えます。なかには、いたずらやひやかしや、そしてたえられないようなセックスの話など、相談員の方がひどく気持が落ちこんでしまうようなケースもよく起こります。しかし、そのような形を通し

でも電話での接触を求め、人のふれあいを必要としている人々の、もう一つ奥にある心の問題や社会の病理をつかみ、その核心を見すえる目を、ボランティアの方ともども養われたいと思います。かぎりなく尊い人間の命と、かけがえない人生をそれぞれに生きる人々への尊敬と思いやりと、その途上においてつまずき、苦しみ、なやみ、またゆがむ人々と共に歩む姿勢が、いのちの電話の中にゆたかに育ち、お互いの疲れをばげましつつ、訓練が続けられることを祈らずにはおられません。



いのちの電話連盟全国研修会

「聴く 聞く きく」に参加して

主事 中野郁子

秋も深まりつつある十一月七日から二泊三日の日程で今年の全国研修会が行なわれました。場所は日本三景のひとつ松島。テーマは「聴く 聞く きく」。名古屋からボランティア九名と主事二名が参加しました。今回の研修会は、かけ手より、うけ手である相談員自身に焦点があてられ、学習方法もグループ学習が中心でした。

全員が初参加で緊張して会場に入ると三百名近い全国からの参加者に出会いました。開会式の後、問題提起ということでシンポジウムがあり、四人のシンポジストにより、「聴く」ということは相手の回復力、成長力を引き出すことにある。「聴くことは自分の枠を持ちながら相手の枠の中で大きくことである。「聴くことは相手と自分自身のあり方に直面させることでなくてはならない。「相談員にとって最も大切なことは相手に真実に関っていく心である。」などの話がありました。その後八つのグループに分かれ（一グループ三〇名前後）グループ学習を進めまし

た。テーマにそつてのグループ学習は、各々のグループのリーダー・メンバーにまかされていて、当センターの参加者もそれぞれのグループで学習を深めていきました。最後の日は、各グループの発表会があり、各々の学習成果をわかちあって終わりました。

以上が大会のあらましですが、次に大会に初めて参加して気づいたことや感想を書いてみます。

大会に参加して様々な地方の様々な相談員の方達と話す機会が持てたことは、全国大会ならではのことで、まだ開局直後の当センターとしては、本当に有意義なことでした。ベテランも初心者もある意味では全く同じ悩みを持ち、不安を抱えて相談活動に参加しています。全国に多くの仲間がいることがわかって歩き出したばかりの我々にとってどんなに心強かったことか。又、「聴く」ということについても、様々なスタイルはあるものの皆が、大切に思っていることがわかり、改めて自分達も「聴く」ということを含めて相談員と

してのあり方を見直すチャンスとなりました。

数多くの学びのある大会ではありましたが、残念だったことは、グループメンバーが少し多勢すぎて、話がもうひとつ深まりにくかったことです。出来れば、もう少し少人数で、各々の関心事に合わせたグループが組めたら、さらに多くの学びが得られたのではないかと思います。又、今回の大会に出席し改めて相談員としてのテクニックではなく相談員としての心を育てていく研修の難しさを訓練を担当しているものの一人として痛感せずにはいられませんでした。

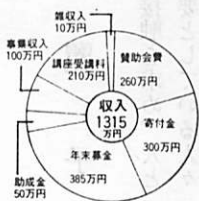
以上が大会に出たの感想ですが、様々な思いはあるものややはり参加して良かったと思います。こういった研修は参加してその中で自分はどう関わるかがやはり大切でそこで学ぶことが多いと思うからです。来年は九月に横浜で行なわれる予定なので、又当センターからも多くの参加者があることを期待しています。

最後に今大会のお世話を下さった仙台いのちの電話の皆さんに感謝して全国研修会の報告を終わります。



クリスマス 末 募金のお願い

すでにお願ひ申し上げたところですが、重ねて御理解をお願ひ申し上げます。今年度は年間収入の三〇%にあたる、三八五万円をクリスマス・歳末募金による収入にあてています。



明年  
5月10日  
開催決定

### 第二回チャリティー・コンサート 津田能人オルガン演奏会

会場・五反城教会

第二回名古屋屋いのちの電話チャリティー・コンサートを明年五月一〇日(土)、カトリック五反城教会を会場にして開催することが十一月十八日の運営委員会で決定されました。

今回は京都より津田能人氏をお招きしてオルガン演奏会を企画いたしました。このコンサートは名古屋屋いのちの電話事務局の新事務所移転の記念コンサートでもあります。

第一回の神野明氏ピアノ演奏会と同様にきっと楽しい演奏会となることでしょう。今年末に準備会が発足します。今から期待してお待ち下さい。



〔津田能人氏略歴〕武蔵野音楽大学オルガン科卒業。一九七四年より西独政府給費留学生として二年間西ドイツに留学、オルガンと合唱指揮を学ぶ。その間西ドイツ各地でオルガン・リサイタルを行なう。帰国後、一九七七年京都バツハ合唱団を設立、オルガン演奏、合唱指揮の双方で活躍。現在、同志社高校及び大学神学部で教鞭を取られる他、同志社教会オルガニスト、京都バツハ・カントライ指揮者。

### 事務局移転先が決定

#### 来年五月 大津橋みこころセンター四階へ

十月十六日に開催された第二回理事会において、懸案であった事務局の移転先が決定されました。新しい事務局は現在大津橋交差点近くに新築中の「みこころセンター」(中区丸の内三三六―四三三 聖心布教会所有)の四階です。

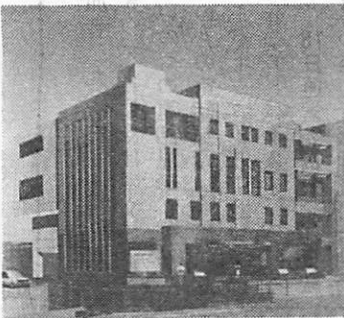
現在の事務所であるマリア館は昨年名古屋屋いのちの電話設立準備委員会発足以来二年間、聖霊病院の御好意により借用してきました。しかし当初より聖霊病院の改築計画の中でマリア館を取り壊すまでという期限つきでありました。

事務局は長期間借用できる移転先を探していましたが、今年の五月に運営委員の一人でもあるピーター・チョーク氏より、同氏が所長をしている「みこころセンター」の新築計画の中にいのちの電話事務局を受入れてもよいとの御申し出がありました。思いがけない朗報に事務局、運営委員会一同大喜びいたしました。その後小川事務局長とピーター・チョーク氏との間で話し合いを積み重ね、ある時は建築事務所の人も含めた技術的話し合いを経た結果、此度の正式決定にいたったものです。

新事務所への移転は来年の五月の予定です。移転にあたっては、新しい電話番号のP・Rや電話相談を中断しないために一晩の中に移転しなければならぬことなどいくつかの難しい問題があります。

が、長期的に安定した事務所が与えられたことはまことに喜びにたえません。二年間マリア館を貸して下さった聖霊病院に対して御礼申し上げるとともに、新たに事務所を受け入れてくださる聖心布教会に対して感謝申し上げます。

なお新事務所のオープンに合わせて第二回チャリティー・コンサートが計画されています。新事務所は地下鉄「市役所」下車五分、大津橋交差点脇。



### ◆第二回理事会報告◆

一九八五年一〇月一六日、午前  
一〇時〜一二時。聖霊病院会議室  
にて。出席者・理事一四名中九名  
事務局三名。

事務局及び三委員会（運営、財  
務、訓練）の活動報告がおこな  
われた後、協議に移り左記四議題が  
承認、決定されました。

(一)理事の変更の件。

小嶋清一郎理事（東海銀行取締  
役）が東京へ転勤となり、代って  
加藤隆世氏（東海銀行取締役）が  
理事となられました。

(二)監査担当理事の件。

理事会に監査役を置く必要が指  
摘され、当面は監査役を新たに置  
くことはせず、理事の中から監査  
担当理事を選出することになり、  
加藤隆世理事と内河恵一理事を互  
選で選出しました。

(三)事務局移転の件。

別記報告のような経過が報告さ  
れ、「みどころセンター」の四階  
に来年五月移転することを決定し  
ました。

(四)事務局人事の件。

訓練担当・事務担当の主事補佐と  
して二名の臨時職員を採用を承認  
しました。（来年三月まで）

### ◆いりなかだより◆

8月1日7月末より8月にかけて  
事務局も夏のプログラムに移り、  
キャンプやトレーニング、夏の休  
暇で長期にいない顔ぶれも出てく  
る。夏のための調整ミーティング。

7日中日新聞社会事業団へ訪問、  
16日統計資料作成の集り。

20日拡大訓練委員会。

9月1日YMCA早天祈祷会でア  
ピール、3日財務委員会のための  
打合せ（木本氏）。一期二次生相談  
電話研修生オリエンテーション（  
於名古屋中央教会）一次生は7月、  
8月と50余名で頑張ってきた、大  
変でした。あと40余名の方がわか  
わるのも来週からと先の見通しが  
ついてホッと一息。4日、5日機  
関紙No3が発行され、発送作業等  
にとりかかる。6日訓練委員会（  
二期生養成講座への準備がされる）  
9日FM愛知でののちの電話のア  
ピール。12日名古屋英語アカデミ  
ーはいよいよ建物取りこわしが決  
定。設計士の方と事務所の機能に  
ついて打合せ。運営委員会のため  
の打合せ（塚田氏）17日統計資料  
作成の集り。18日訓練委員会。

19日第一回運営委員会。20日第一  
回財務委員会。24日今年度二期生  
相談員養成講座開始（於名古屋中  
央教会）27日中日新聞取材。  
10月1日中日新聞社よりパソコン  
贈呈、2日ポランティア部打ち合  
せ、4日宣伝用パネルの写真撮影。  
記録整理部の集り。8日YMCA  
ワイズメンズクラブでアピール、  
14日運営委員会、16日理事会（第  
二回）19日関西ブロック事務局会  
議（於関西ののちの電話）21日全  
国研修会出席者打ち合せ会、名古  
屋からはじめての出席のため、親  
睦会の出しものなど四苦八苦して  
考える。継続訓練グループ（10グ  
ループ）のスタッフミーティング。  
23日電話担当編成部の集り。財務委  
員会（募金となりたっている「いの  
ちの電話」、どのように財政の確立  
をしていくか話題になる）

28日電話担当編成部、担当表作成  
について新しい試みをしてみる。  
訓練委員会。31日NNTTへ電話器  
機のごとで訪問。  
11月7日〜9日日本ののちの電話  
連盟主催全国研修会「みちのく大  
会」参加者一九〇名。テーマ「聴く  
聞く、きくくわしくは本文で。9  
日東京いのちの電話見学（佐藤）  
横浜いのちの電話見学（中野）  
13日スーパーヴァイザー意見交換  
会、貴重なアドバイスをいろいろ  
と得る。18日運営委員会。20日統  
計資料について近畿地区打合せ会  
（京都へ4人出張）21日共同募  
金会へ資料提出。ポランティア新  
聞部の集り。22日西区ロータリー  
クラブへ打ち合せ。25日電話担当  
編成部（12月担当表作成）、27日N  
HKラジオでアピール。  
（佐藤）

### ◆◆◆

#### 事務局人事

青木明子さん、訓練担当主事補  
佐。十一月から五ヶ月間、忙しい  
事務局を手伝っていただきます。  
今までは幼稚園の保育さんでした。

# 募 金 報 告 (1985年8月1日～1985年10月31日) (敬称略)

## 賛助会員A

渋谷史郎 小川義雄 名古屋YMCA 木島正司 島田麗子 戸田安士 川津錦子  
 笠井康助 安田元輔・ミチ子 土肥美枝子 青木恵子 雪の聖母幼稚園 飯尾てる  
 伊藤とき子 水野由吉 細井 卓 牧岡恒夫 伊左治正文 鳥居 寛(カトリック医師会)  
 内河恵一 藤吉康司 宮木邦蔵 畑中 孝 カトリック弥富教会 森 茂也 明比輝代彦  
 芝原慶次 芝原ゆかり 塚田道生 カトリック蟹江教会 福田昌男 豊田英二 豊田寿子  
 聖母カテキスタ会 豊田園子 豊田幹司郎 豊田周平

合計 43口 430,000円

## 賛助会員B

佐藤あさ子 山田章恵 水谷秀器 村瀬文雄 柴川久仁子 前田栄子 中野悦美  
 福島シズ 成田良子 梅林しのぶ 比嘉ウタ 佐藤一夫 服部富美 深尾松男  
 岸 正倫 今井文子 松井くら 田内 昭 水沢みち子 石垣弘子 岳野フサ江  
 河野登喜子 安藤知津子 白井泰子 宇佐美夏子 佐々木敏 須藤よし子 齊藤延枝

合計 28口 140,000円

## 賛助会員C

山村博偉 山田真理 野村葉子 今岡小百合 田中テル枝 素来万里子 舟橋鉦一  
 山田す系 松下暁子 鳥居平和 鈴木国弘 中嶋啓夫 佐藤辰一 河田いさを  
 中根瑞枝 榊原悦子 水野静子 望月武雄 武嶋恵子 矢野揚子 若山直子  
 湯田豊子 小室美奈子 塚本 泉 佐尾三保子 中井文子 杵山達雄 吉田誠子  
 伊藤洋子 平松光栄 加藤 晃 南 喜輝 中野公子 渡辺邦俊 田中あさ子  
 由井哲夫 浦野美里

合計 38口 114,000円

## 寄付者(個人)

真木芳子 高橋一美 内川正邦③ 石黒豊重② 植田勇二 吉村直子 村瀬文男  
 楠 忠雄③ 梶原 寿 近藤はつ糸 前園弘子 中川幸子 武保輝彦② 大橋 京  
 川端良見 今泉絢子 伊藤禎子 足立克己 志方田鶴子 千波富美子 足立国子  
 高橋郁子 児玉篤尚 五藤薫子 坂野延子 水山進吾 奥村芳子 戸田安士  
 今井士郎 伊藤方仁 石田夏江 古谷恵子 日比野かづを 岩田邦子 伊藤克彦  
 浅野 稔 八代ふゆ子 西澤信正 谷田沢典子

合計 45口 427,100円

## 寄付者(団体)

雪の聖母幼稚園 苗代ボランティア 岐阜カトリック教会壮年会  
 YMCA名古屋ワイズメンズクラブ 富山幼き聖マリア修道院  
 カトリック鳴海教会 日本基督教団枇杷島教会 聖マリアの無原罪修道会  
 マリア館ボランティア有志一同

合計 9口 98,000円

(募金報告に誤り、報告もれがありましたら、誠に申しわけありませんが、事務局へお知らせください。)